

畿央大学は、
広陵町の健康づくり、
まちづくりに貢献します。

若者と高齢者が世代をこえて
元気でいきいきと暮らせる
広陵町をめざします。

広陵町×畿央大学 KAGUYA プロジェクト

Keeping Active across Generations Uniting the Youth and the Aged

このプロジェクトは、若者と高齢者が一丸となり、世代をこえて、
住民が元気でいきいきと暮らせるまちづくりをめざす取り組みです。



この事業は、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（平成 27 年度～平成 31 年度）
「ソーシャル・キャピタル創出とヘルスケアデータ一元化による地域包括ケアシステム研究拠点の形成」の助成を受けて実施されます。

KAGUYA プロジェクトって？

畿央大学は地元広陵町と連携し、運動教室や体力測定、介護予防、認知症施策などさまざまな健康増進のための人材育成や施策を進めています。その実績もふまえて、文部科学省の補助金である「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に畿央大学が奈良県で初めて採択されました。この助成を受けて、健康に強いまちづくりと実践教育・研究をコラボした「KAGUYA プロジェクト」を平成 27 年度よりスタートすることになりました。

「KAGUYA」の意味って？

KAGUYA（かぐや）は“Keeping Active across Generations Uniting the Youth and the Aged”の略称で、「若者と高齢者が一丸となり、世代をこえて、住民が元気で生き活きとし続けられるまちづくりをめざす」という思いが込められています。また広陵町の竹取公園は竹取物語で有名なかぐや姫誕生の地と言われていることから「KAGUYA プロジェクト」という愛称がつけられることになりました。

KAGUYA プロジェクトがめざすのは？

KAGUYA プロジェクトは、広陵町と協働して地域の健康情報をまとめたデータベース構築を進め、広陵町介護予防リーダー（KEEP）養成講座、畿央大学認知症カフェ等の認知症施策に関する人材育成を行い、畿央大学の健康支援学生チーム（TASK）等とともに、住民の健康増進および介護・認知症施策に寄与するプロジェクトです。

<具体的な活動内容・詳細については裏面をご覧ください>

主な研究テーマ

- ▶ヘルスケアデータ統合プラットフォーム構築に関する研究
- ▶健康・認知症の効率的なスクリーニング方法およびそのアプリケーションの開発
- ▶健康啓発・予防医療推進・認知症予防のための住民リーダー人材育成の効果検証
- ▶住民への健康支援が他専門分野から構成される学生チームに与える教育効果

Kio 畿央大学ヘルスプロモーションセンター

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2 TEL：0745-54-1601

最新情報は KAGUYA プロジェクト facebook ページで！
<https://www.facebook.com/kaguyaproject>

畿央大学の学生や教員が、皆さんと一緒に広陵町を盛り上げます！

KAGUYA プロジェクトは、健康と教育のプロを育てる畿央大学が、皆さんの健康を支援しながら「元気になるヒケツ」を探る“地域密着型研究プロジェクト”です。

近年、健康は個人の努力だけではなく、「地域の力」「社会の力」も重要だと言われています。地域のつながりや、社会経済的要因が健康に影響を及ぼすことも明らかになってきました。KAGUYA プロジェクトは、地域で活躍する学生ボランティアや住民リーダーを育てながら、さまざまな健康データを集めてその関係を調査することで広陵町の健康状況を「見える化」し、「どんな要因が健康に影響するのか」を探る全国でも珍しい取り組みです。健康に強いまちづくりをめざして、皆さんと一緒に広陵町を盛り上げませんか？



■あなたの健康上の不安を解決します！

各種イベントに参加すればあなたの健康が簡単にチェックできます。また、専門職からのアドバイスも受けられます。

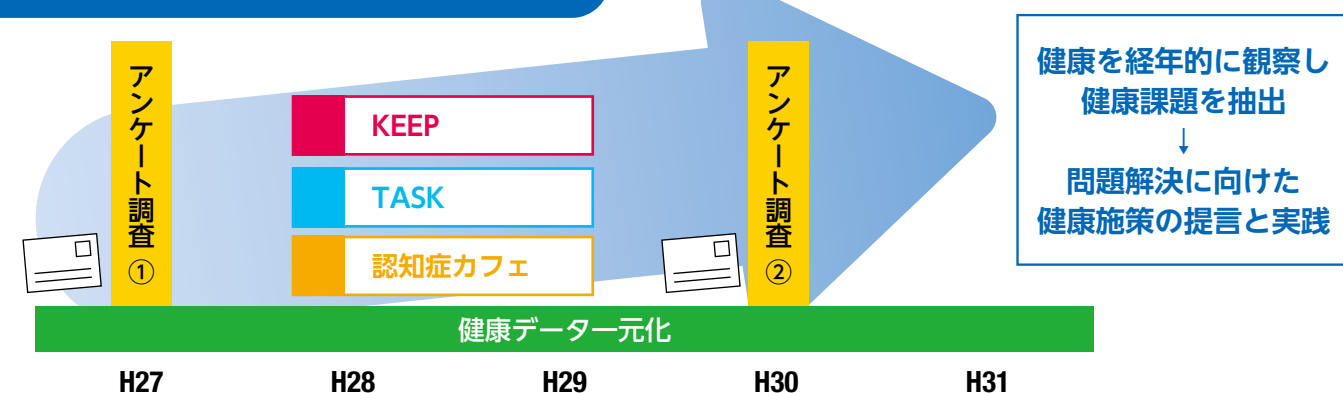
■新たな出会いが、あなたを元気に！

畿央大学の教員や学生、住民ボランティアが広陵町内で活動して、地域の中で世代をこえた人的交流を活発にします。

■つながりが広げる、元気の輪！

地域との“つながり”がどれくらいあなたの健康や生きがいにつながるのかを調べます。

KAGUYA プロジェクト 5 年間の流れ



住民リーダーを育成して、地域を活性化します。

広陵町地域包括支援センター・畿央大学が連携して開催した「介護予防リーダー養成講座」を修了したボランティアグループの愛称です。黒地に「KEEP」と書かれたTシャツが目印です。町内での運動教室や出前講座、サロン運営と様々な町内行事・イベントに参加して、皆さんの健康づくりをお手伝いします。

KEEP (キープ)



2015年度「奈良介護大賞」受賞

町や大学のイベントに学生が参加・協力します。

理学療法士、看護師、管理栄養士、建築士、教員などをめざす学生100名以上が在籍する、畿央大学の健康支援学生チームの愛称です。「TASK」と書かれた濃紺のポロシャツが目印です。健康チェックや運動指導を通して、子どもから高齢者まで地域の方々の健康を支援します。町内の健康増進事業にもボランティアとして参加していきます。

TASK (タスク)



月1回、自主勉強会を開催

認知症ケアを専門職と一緒に学べる場所を提供します。

認知症にならないためにはもちろんですが、気軽にできる物忘れチェックや認知症に関するミニ講義、介護相談を行います。学生や地域の皆さんとコーヒーやお茶を飲みながら、気軽に認知症について話し合います。H28年度以降は講義を受けた方を「認知症サポーター」として登録して、地域のリーダーとして活躍していただく予定です。

認知症 カフェ



愛称は「Kio オレンジ喫茶」

アンケート調査

1年目(平成27年度)と4年目(平成30年度)に広陵町の高齢者の85%にあたる6,800人を対象としたアンケート調査を実施します(40～64歳の方々にも別途実施予定)。地域の現状や課題を探るとともに、住民リーダーや学生チーム、認知症カフェ等の活動が、皆さんの健康にどんな影響を及ぼしたのかを調査します。抽出された健康課題や研究成果は広陵町に還元し、まちづくりに活かされます。

健康データ一元化

点在している健康データを一つにまとめて相関関係を調査することで、皆さんの「元気のヒケツ」や「健康上の課題」が何なのかを明らかにし、広陵町と一緒によりよい健康増進施策を検討・実践します。研究を進めるにあたっては広陵町と畿央大学でNDA(秘密保持契約)を締結します。プロジェクトに協力いただいた皆さんの個人情報は秘匿化されますのでご安心ください。